

きほくのまち人探訪

「一期一会が活動のモチベーション」



にしむら しんいち
西村 真一さん

しまなみ海道でのサイクリング体験をきっかけに、自転車に熱中している西村真一さん。西村さんが勤める「あかまつ農園」の事業として、今年3月26日にオープンしたサイクリスト向けのゲストハウス「西村サイクル24C」の管理人を務めています。

もともと、近永駅近くの自転車屋だった建物（空き家）を改修して開業したこのゲストハウスは、サイクリストの交流の拠点として、JR予土線のサイクルトレインの利用や、道の駅などに設置されたE-BIKE利用の相乗効果も狙います。

サイクリングスポットとして認知度

が高いのは、やはりしまなみ海道ですが、南予地域も負けてはいません。遊子の段畑や滑床溪谷、足を延ばせば四国カルストや四万十川などの景勝地に恵まれており、近永地区はちょうどそれらのハブ（交通結節点）に位置しています。そこに着目して、宿泊施設の無い近永の町なかにオープンした、泊まれるゲストハウス。施設の運営を通して「普段では会うことのない人と出会い、交流することが楽しみ」と笑顔で話す西村さんの取り組みは、県が目指す自転車新文化の推進や、町の交流人口拡大にも、一役買いそうです。

ALTの鬼の里Diary ~Chrisdelle編~

「I'm so happy that I moved to Kihoku Town」



私は大学4年生の時に初めてポートを作成しました。卒業後、初めて海外旅行をし、2019年8月に日本に来ました。それ以来、たくさんの美しく、楽しく、エキサイティングなことを初めて体験しました。

鬼北町に引っ越す前は、こんなに長い間家族から遠く離れたことはありませんでした。道路の反対側を運転し、読んだり、話したり、理解したりできない言語を勉強しながら、地球の裏側の国で、自分自身で生活する術を学びました。一人暮らしは圧倒されることも沢山ありましたが、そのおかげで素晴らしい思い出がたくさんできました。

豊かな日本文化を直接体験することができました。折り紙を作るために本を買い、オムライスを作るためにYouTubeを見て、日本語で歌う方法を学ぶ

ためにVHSテープを繰り返し再生しながら、成長しました。鬼北町に住んで、三島の戸祇山に登り、愛治では手作業でそばを作り、日吉で柚子まつりを楽しみました。ひなまつり、成人の日、愛媛映画祭などを学ぶために、鬼北町青年団と一緒にイベントに参加しました。私が最も大切にしている思い出は、親切な住民、フレンドリーな役場の職員、歓迎してくれる先生、そして私の愛する子どもたちと話をしたことです。

この人生を変える経験のために鬼北町に引っ越してきたことをとてもうれしく思います。予定より早くこの仕事を終えるのは悲しいことですが、人生は予測できないものです。いつかまた戻ってこの平和な町で働くことができることを心から願っています。

地域おこし協力隊活動日記

「きじも僕も まだまだひよっ子です」

地域おこし協力隊1年目

おおむら さとし
大村 怜



今年4月に着任した地域おこし協力隊、大村です。日が増すにつれて日吉の朝の冷たさも和らぎ、布団から楽に抜け出せることに喜びを感じています。

私は将来、きじ養殖と農業をすることを目標としており、現在はきじ工房などできじ養殖の勉強をしています。4月から初夏にかけてきじは卵を産み、卵は20日程度で孵化するため、ゴールデンウィーク明けには雛が誕生すると予想されます。これから夏に向けては、卵を拾い集めることと雛を育てることが主な仕事になります。雛のうちは体が弱く、気温の管理や餌の管理を怠るとすぐに死んでしまいます。そのため、

雛が発生するシーズンは緊張感がありますが、雛が元気に生まれ、無事に育ってくれることを願うばかりです。

また、農業の勉強ということで、スイカの栽培に挑戦したいと考えております。スイカは難しい作物であると感じますが、大好きである私は挑戦せずにはいられません。他にも様々な夏野菜に挑戦するつもりです。夢産地のふれあい農園をお借りして作業する予定なので、見かけた際にはお声がけいただけると嬉しいです！初めてのことで失敗することも多いでしょうが、応援していただけると幸いです。